

[諸般の報告・その他の関係]

問 宇野 裕委員

- 1) 今回の狂牛病の検査では、英国に確認検査を依頼したというが、今後も英国に検査を依頼していくのか。
- 2) 小児科医が減っていく中で、県としてはどのような対策をとっていくのか。

---

答 平山衛生指導課長

1) 今回の検査は、農林水産省のサーベランス事業として、筑波の動物衛生研究所に送られ検査を実施した。狂牛病については、英国が発生国であり、我が国では、狂牛病の検査は定着していないので、確認のために英国に送ったと聞いている。

18日からの検査が開始されるに当たり、陽性、擬陽性のときには、帯広畜産大学に確認検査のために送ることになっている。

---

答 瀧村医療整備課長

2) 千葉県においては、現在小児科医は約500人おり、これは人口10万人に対して8.5人になり、全国平均11.1人に比べて下回っている状況である。

県としてできることは限られるが、小児救急医療体制の充実に関する提言の中で、小児科医の確保策として小児科医に対する臨床研修の充実について触れているので、それを踏まえて検討していきたい。

---

問 宇野 裕委員

これからは、英国に送ることはないのか。

---

答 平山衛生指導課長

これからは、帯広畜産大学に送ることになっていると聞いている。

---

問 宇野 裕委員

小児科医が少ないという点について、確保方策はあるのか。

---

答 瀧村医療整備課長

小児科医個人への対応というのは難しいが、診療報酬等の引上げなど国へ要望していきたい。

---

答 内藤健康福祉政策課長

医療計画を策定中だが、本県では医師や病院が少ないなどの問題がある。小児医療についても、特に小児救急医療の整備充実等について、これからいろいろ検討していきたい。

---